



《東小学校ホームページ》 [www.school.umic.jp/higashi/](http://www.school.umic.jp/higashi/) もご覧ください。(最新情報ほぼ毎日更新中)

## 「校長の大きなつぶやき対話集会」より

# あせらず あきらめず「努力の壺」をいっぱいにしてよう!

9月21日に今年度2回目となる「校長の大きなつぶやき対話集会」(校長講話)がありました。今回は2学期始業式での『継続は力なり』のめあてに寄せて『努力の壺』の話を紹介しながら、全校児童と対話しながら進めました。

 <p><b>つぼ</b>(水などをためておく) 目には見えぬ心の中に見えてくる <b>一人一人にみんなもらえる</b></p>	<p>どんなときにこのつぼをもらえるか 何かがんばろうと思った時 やろうと思った時 <b>どきよくのつぼ</b></p>	 <p><b>どきよくのつぼ</b> いろいろな大きさ 人によって大きさがちがう</p>	<p>できた! 小学校1年生のある友だちが書いた作文 どちゅうで、やめたり、あきらめたりすると、いっぱいにならない <b>どきよくのつぼ</b></p>
---	--	---	--

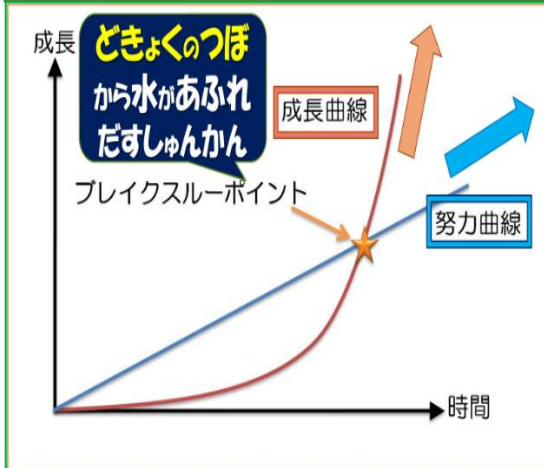
### ～小学校1年生のある友だちが書いた作文の紹介～

「お母さん、努力の壺の話、またして。」 「うん、いいよ。今度はなあに。」 「逆上がり。」  
「あらあら、まだいっぱいになっていなかったのね。ずいぶん大きいねえ。」と言いながら、お母さんは椅子を引いて、私の前に座りました。そして、もう何回もしてくれた努力の壺の話をまたゆっくりと始めました。それはこんな話です。

人が何か始めようとか、今までできなかったことをやろうと思った時、神様から努力の壺をもらいます。その壺はいろんな大きさがある、人によって時には大きいものや小さいものやいろいろあります。そしてその壺は、その人の目には見えません。でもその人が壺の中に一生懸命「努力」を入れていくと、それが少しずつたまって、いつかその「努力」があふれる時、壺の大きさが分かるというのです。だから休まずに壺の中に「努力」を入れていけば、いつか必ずあふれる時が来るのです。

私はこの話が大好きです。幼稚園の時、初めてお母さんから聞きました。その時は、横ばしごの練習をしている時でした。それから一輪車や鉄棒の前回り、跳び箱、竹馬。何でもがんばってやっている時、お母さんに頼んでこの話をしてもらいます。くじけそうになった時でも、この話を聞いていると、心の中に大きな壺が見えてくるような気がします。そして私の努力がもう少しであふれそうに見えるのです。だからまたがんばる気持ちになれます。

お母さんの言うとおりに、今度の逆上がりの壺はずいぶん大きいみたいです。逆上がりを始めてから、もう2回もこの話をしてもらいました。でも今度こそ、あと少しであふれそうな気がします。だから明日からまたがんばろうと思います。お母さんは、「壺が大きいととても大変だけど、中身がいっぱいあるからあなたのためになるのよ。」と言ってくれるけど、今度神様にもらう時は、もう少し小さい壺がいいなあと思います。 出典:朝日作文コンクール「子どもを変えた親の一言」作文25選(明治図書) 掲載許諾済



「わたしって……、これがんばっている」 **成長**  
「わたしは……、けっこういい人かも……」 **自信**  
自分(じぶん)のよさを知り、自分(じぶん)を大切に(じぶん)にしてほしい

校長の大きなつぶやき対話集会 9月



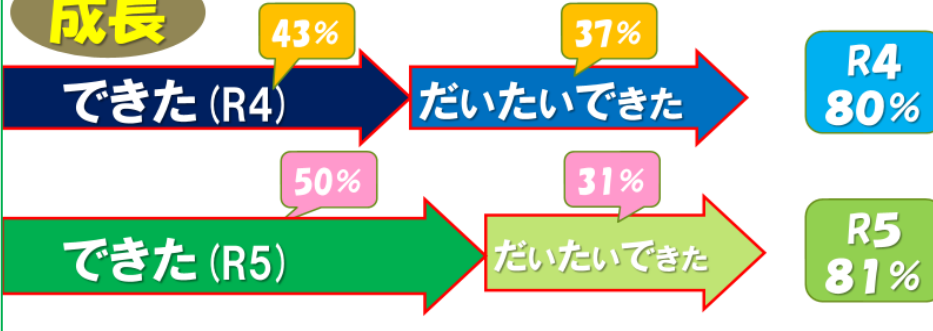
「努力の壺」

みなさん、今ほどの学年のお友だちも音楽会に向けての「努力のつぼ」を授かっているかと思います。

ぜひとも「あせらず」「あきらめず」に積み上げてきた一人一人の『努力のつぼ』にためてきたものをぜひみんなの前で自信をもって発揮してもらいたいと思います。

「前期児童アンケート(7月)での比較」より  
**「自分からあいさつ」**について自己評価結果

前期児童アンケート(7月)での比較  
 先生や友だちに、自分から、**あいさつ**ができていますか？



8月のめあて **87%**  
 いつでもどこでも  
**あいさつしよう**  
 あいさつする場面を広げる/通学時朝以外/家庭や地域

9月のめあて  
**えしゃく(れい)をして**  
**あいさつしよう**  
 立ち止まってあいさつ/相手を大切に思う気持ち

10月のめあて  
**相手より先に**  
**あいさつしよう**  
 自分からあいさつ/勇気と自信/先にあいさつはつねに必ず通す

R5前期児童アンケート及びR5前期教職員自己評価は、考察・分析等がまとまったところで、公表(HP)となりますが、本年度最も力を入れて取り組んでいる「あいさつ」の項目については、速報で紹介いたします。A+Bの肯定的回答は、R4(80%)とR5(81%)を比較すると同程度でしたが、**A評価(できた)は大幅なアップ**となりました。  
 「めざせ!あいさつ名人」(あいさつ Step Up Project)の取組を更に充実させ、10月のめあて「相手より先にあいさつしよう」に結び付けていき、一人一人の「自信」と「成長」が自覚できるようにしていきます。

「横断歩道でのマナーを考える」⇒止まってくれた運転手さんへの**お礼**

**横断歩道ルールマナーアップ運動**  
 9月1日~30日  
 横断しない時は **横断歩道の近くに立たない!**  
 横断する時は **大きく首をふって左右の安全確認**  
**手をあげる**など横断する意思を**明確に伝える**  
**秋の全国交通安全運動** 登校時  
 街頭指導 9月21日~30日

信号のない横断歩道での一時停止率  
 1位 長野県 82.9% 7年連続断トツ1位  
 2位 兵庫県 64.7%  
 3位 山梨県 64.6%  
 長野県の子どもは……  
**お礼をしてくれるので**  
 一時停止してくれる運転手の数が全国1位

止まってくれた運転手はどんな気持ちでいたのかな? ~運転手さんたちの感想~  
 そのあと、ずっとはれやかな気持ちになった  
 ありがとう ございました  
 だれかを幸せにできる **笑顔輝くひんがしっ子**  
 止まった、自分をほめてあげたくなった



市街地にあたる東小学校では、通学路に必ず「横断歩道」がありますし、「横断歩道」には、普通の信号機や押しボタン式信号機がある場合が多いです。逆に、信号のない「横断歩道」を横断してくる子の方が少ないように感じます。本校においても、登校時に信号のない「横断歩道」をしっかりと手をあげて、横断後、一時停止してくれた運転手さんに「ぺこり」と、あるいは「深々と」「会釈している」「礼をしている」「挨拶している」姿によく出会います。横断後、一時停止してくれる運転手さんへお礼をするのは長野県の児童・生徒の皆さんの素晴らしい伝統的マナーです。朝から清々しい気持ちになります。車に乗っている運転手さんは、窓を閉めている方が多いので、「ありがとうございました」という声よりも、「会釈をする」「礼をする」という姿・行為の方が相手に感謝の気持ちが伝わるのです。

この東小学校のお友だちの素敵な姿を「押しボタン式の信号のある横断歩道」にも広げていきたいと北門前の「押しボタン式の信号の横断歩道」に立って見守っていると、さっそく渡り終わった後に、会釈やお礼をしている人がたくさんいました。「押しボタン」を押して、車側の信号を赤にして運転手さんに一時停止してもらうのは、信号のない「横断歩道」で手をあげて運転手さんに一時停止してもらうのと同じです。止まってくれている運転手さんには、横断後の「会釈をする」「礼をする」という姿・行為をくせにする・習慣にする・ルーティーンにするようにしていきましょう。  
 「めざせ!あいさつ名人」の9月のめあて「えしゃく(れい)をして あいさつしよう」の取組が確実に広がっている姿に、今日も「にっこり」笑顔でさわやかな朝を迎えています。